

# QuickCRM Wiki へようこそ

ここは[QuickCRM](#)と関連する周辺情報やTipsについて記載するWikiです。

[QuickCRM](#)はC T Iアプリケーションシステムを構築するための商用パッケージですが、これをひとつのステーションとして、より効果的なC R Mシステムを構築して運営するために、どんな活用のと仕方があるか、あるいはどんなツールとの連携が出来るのか、などについて、気付いた事や、実際にやってみた事を書いていきます。

その為には、まず[CRM](#)とはどういうもので、今、[CRM](#)になにが必要なのか、どう取組めば効果をあげられるのかを明らかにしていく必要もあり、当サイトではその切り口からのアプローチもしていきます。

また、QuickCRMの主要用途であるコールセンター業務のI Tからのサポート、という側面からは、I Tサービスマネジメント全般との関連づけも重要です。計画～導入～運用～修正、といった流れの中で、QuickCRMはどう位置づけられるのかも明確にしたいと思います。

更に、プログラマであり、易の研究者でもある筆者が、易學的観点からQuickCRMの主要ユーザーであるコールセンターについて、掘り下げていきます。これは遊びやふざけではなく、実用的なツールとしての易によるシナリオ分析のようなものです。数千年の時代を越えて受け継がれてきた伝統文化の産物である易が、時代の最先端を突っ走るI Tシステムをどのように解釈するのか、やってみなければ自分でもわからないところですが、余り突飛な内容にならない様にはしていくつもりです。

投票(5)